

東北ブロック会議（平成28年9月23日・岩手県：ホテルメトロポリタン盛岡・本館）

参加者は約130名。午前の部において文部科学省説明会が行われ、星川正樹文部科学省専修学校教育振興室室長補佐が「職業実践専門課程」についての説明を行った。星川室長補佐は「平成29年度専修学校関係予算概算要求」の解説に関連付けながら、「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」および「専修学校関係の閣議決定文書等」について概要を解説し、また平成26年4月より始まった職業実践専門課程の申請手続き等について、実務的な変更点や手続き等に係る注意点にも言及した。さらには、「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」の制度化に触れつつ、専修学校教育の新たな動きと対比する形で、現行制度での振興策である職業実践専門課程の意義を強調し、引き続いての前向きな取り組みを期待する旨が述べられた。

昼休憩を挟み、午後より総会開式となった。まず高橋勝徳岩手県専修学校各種学校連合会理事が開会のことばを、また東北ブロックを代表して、木浪賢治東北ブロック長・青森県専修学校各種学校連合会会長が歓迎の挨拶を述べた。次いで開催県の岩手県を代表して龍澤正美岩手県専修学校各種学校連合会理事長が挨拶し、最後に小林光俊全専各連会長が挨拶を述べた。

次いで来賓祝辞が星川文部科学省専修学校教育振興室室長補佐、達増拓也岩手県知事（代読）、谷藤裕明盛岡市長より述べられたのち、来賓紹介及び山谷えり子参議院議員からの祝電披露が行われた。

来賓紹介と祝電披露後、表彰式において特別功労賞に岡部隆男先生が、永年勤続賞（代表）に渋谷雅宣先生が受賞者として登壇し、表彰状授与と両名による謝辞が行われた。

引き続き、文部科学省行政説明として星川室長補佐が、「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」に関する説明を中心に行い、審議の論点と審議経過報告、開学に向けたスケジュールの見通しを解説した。

全専各連事務局からは、行政報告を補足する形で新たな高等教育機関創設に向けた全専各連の取り組みを説明し、専修学校が中心として提供している職業教育の社会的評価の向上の意義を述べ、職業実践専門課程に象徴される質保証・向上の取り組みの推進を呼びかけた。あわせて制度設計のポイントや基準、今後の見通しについても説明。最後にTCE財団が行う各種事業を紹介し、積極的参画を要請した。

その後はブロック会議の議案審議として事業報告・収支決算報告・収支予算案が審議され、各議案につき可決され、総会が終了した。

休憩後の基調講演では、財団法人新渡戸基金の藤井茂事務局長兼常務理事が「われ太平洋の橋とならん・・・稲造スピリット」と題して講演を行い、国境を越えて学び続け、他者と社会への貢献を通して自身を研鑽していった新渡戸稲造の生涯を紹介した。

最後に懇親会が行われ、赤池誠章参議院議員があいさつを述べた後、18歳選挙の開始に伴い、学生・生徒の学ぶ意欲に応える為更なる奨学金制度充実を政策に反映させていく報告と決意を表明した。続いて次期開催県である木浪賢治青森県専修学校各種学校連合会会長が挨拶、中締めと全大会の閉会の辞を工藤昌雄岩手県専修学校各種学校連合会理事が述べ、全ての日程を終了した。

